

一人暮らしへ向けた支援を行うグループホームの活用を進めるための研修
～ご本人の希望する生活を叶えるためのソーシャルワーカー実践を考える～

研修実施報告書（研修アンケート結果）

◆研修実施概要

開催日：2024 年 12 月 22 日（日）

開催場所：ビジョンセンター田町（東京都港区芝 5-31-19 ラウンドクロス田町）

受講者数：受講決定者 58 人、当日受講者 55 人（うち、修了者 54 人）

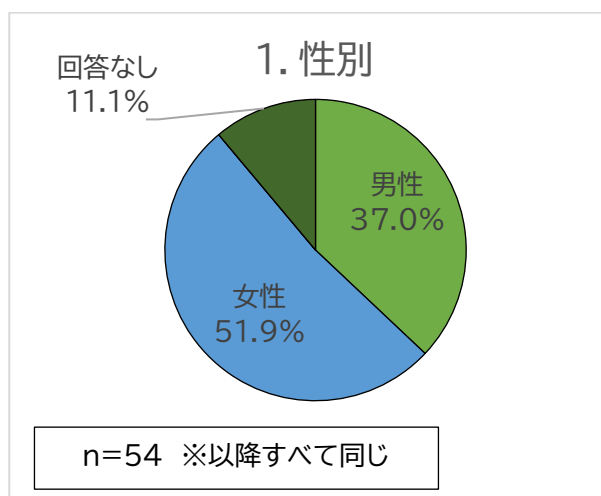
時間		内容
09:40－09:50	10 分	開講式・オリエンテーション
09:50－10:30	40 分	講義1「改めて『すまい』について考える」 講師：廣江 仁（本協会副会長／社会福祉法人養和会 障がい福祉サービス事業所 グループホームつばさ）
10:30－10:55	25 分	演習1「『すまい』について」 進行：伊井 統章（本事業担当者／アソシアソーシャルサポート）
10:55－11:05	10 分	休憩
11:05－11:40	35 分	講義2「グループホームのこれから～法改正・報酬改定の内容をおさえる～」 講師：弘田 恭子（本事業担当者／山梨県立こころの発達総合支援センター）
11:40－12:00	25 分	演習2「グループホームの活用について」 進行：小原 智恵（本事業担当者／医療法人社団啓愛会 小矢部大家病院）
12:00－13:00	60 分	昼休憩
13:00－14:00	60 分	講義3「グループホームを活用するためのアクション」 講師：吉澤 浩一（本事業責任者／(NPO)江戸川区相談支援連絡協議会）
14:00－14:05	5 分	シンポジウムの場面転換
14:05－14:55	50 分	シンポジウム「『希望する生活』へ向けた私のソーシャルワーク実践」 パネラー：鈴木 柚子（本事業アドバイザー／社会福祉法人ひらいろミナラルグループホーム遊牧舎） 渡邊 充恵（本事業担当者／社会福祉法人蒼溪会 ライフデザイン ボヤージュ） 柴田 久仁子〔兼 進行〕（本事業担当者／医療法人宮本病院）
14:55－15:05	10 分	休憩
15:05－15:45	40 分	演習3「グループホームの活用へ向けて」 進行：田中 由佳理（本事業担当者／一般社団法人てとて）
15:45－15:55	10 分	休憩
15:55－16:25	30 分	演習4「『希望する生活』を叶えるための私の実践」 進行：波田野 隼也（本事業担当者／mudtplow 合同会社）
16:25－16:45	20 分	研修総括・全体シェアリング
16:45－17:00	15 分	閉講式（アンケート記入含む）

◆研修アンケート結果

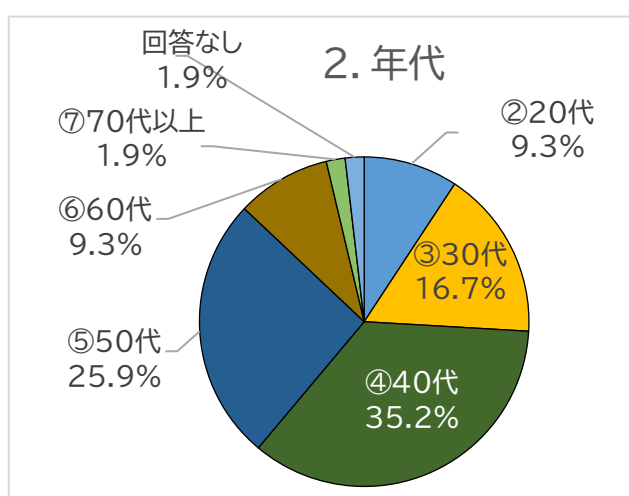
研修受講者に対して、本研修の効果測定及び今後の本協会事業活動の参考にすることを目的に、アンケート調査を実施した。研修の資料と共にアンケート用紙を配付し、研修終了後に回収した。当日受講者 55 人（うち 1 人は早退により修了なし）のうち、54 人が回答、回収率は 98% であった。集計結果について以下のとおり報告する。

I. あなたご自身についてお伺いします（任意記入）

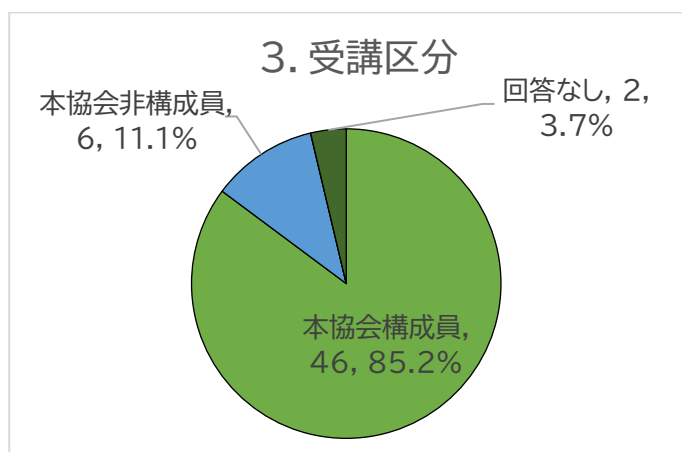
1. 性別



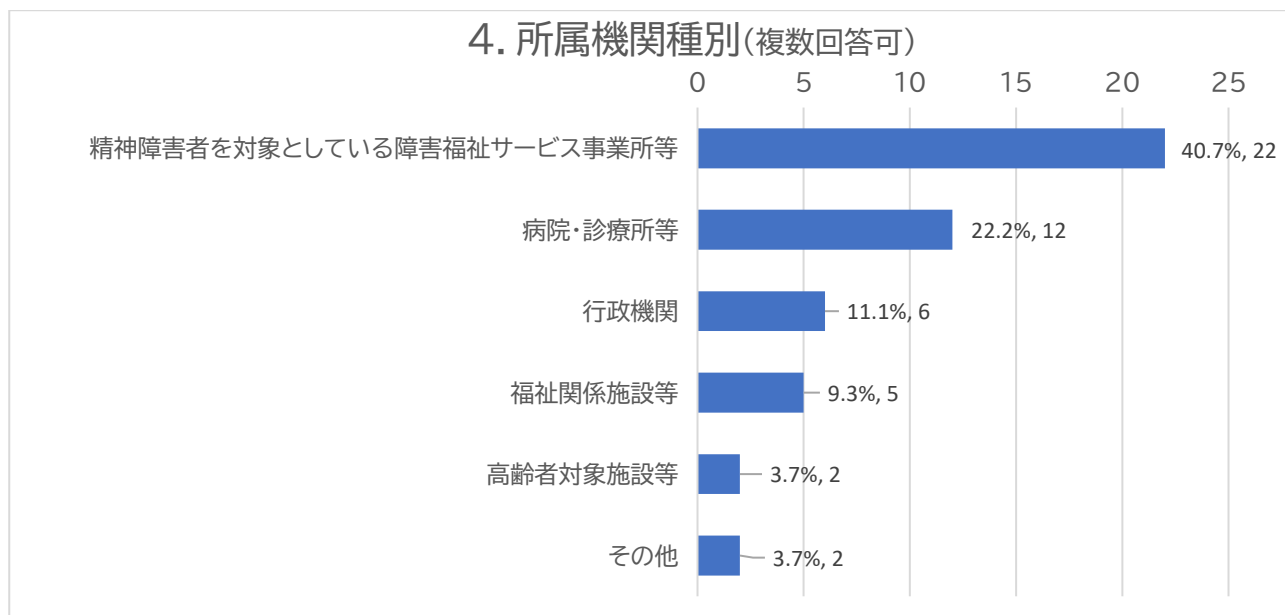
2. 年代



3. 受講区分

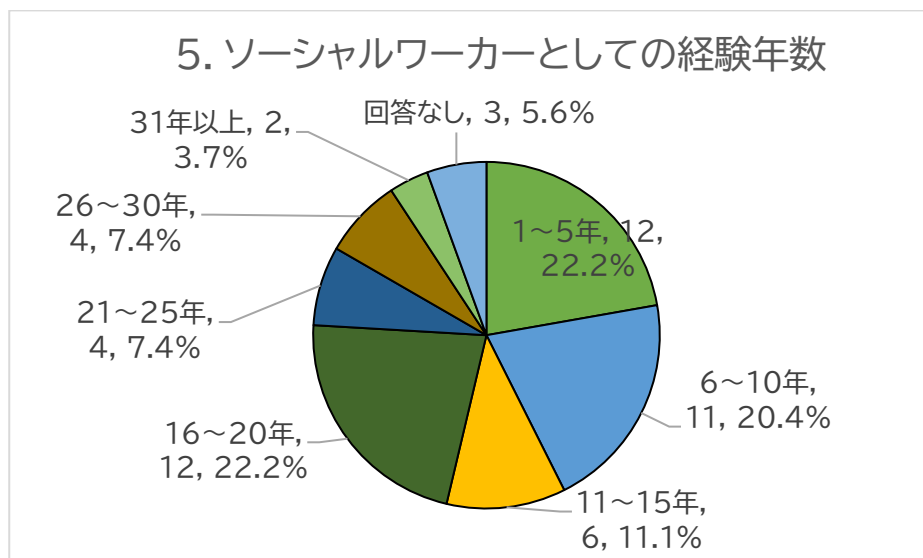


4. 所属機関種別（複数回答可）

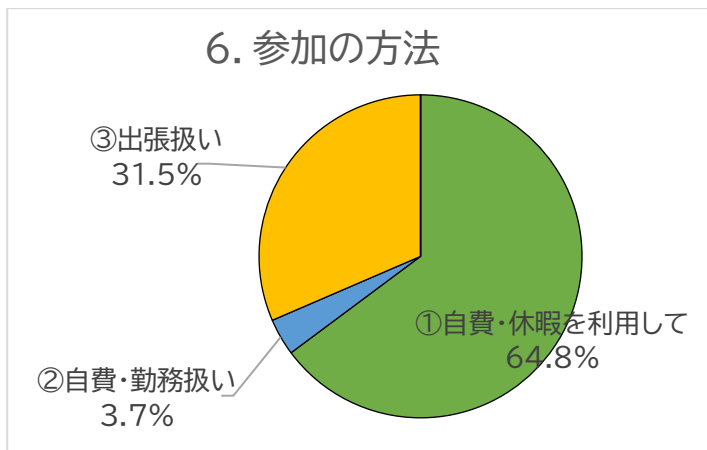


※認知症疾患医療センター、障害者職業センター（広域・地域）、社会福祉協議会、発達障害者支援センター、各種学校、ホームレス支援、更生施設等、勤務先なしの選択肢については該当者なし。

5. ソーシャルワーカーとしての経験年数

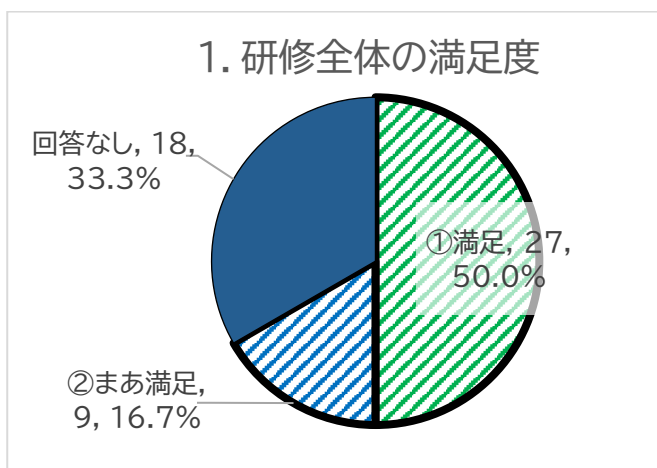


6. 研修参加の方法



II. 研修内容に関するモニタリング

1. 研修全体のあなた自身の「満足度」をお答えください。

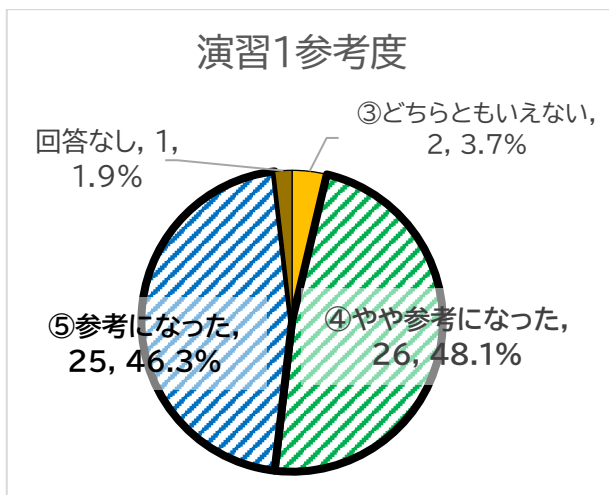
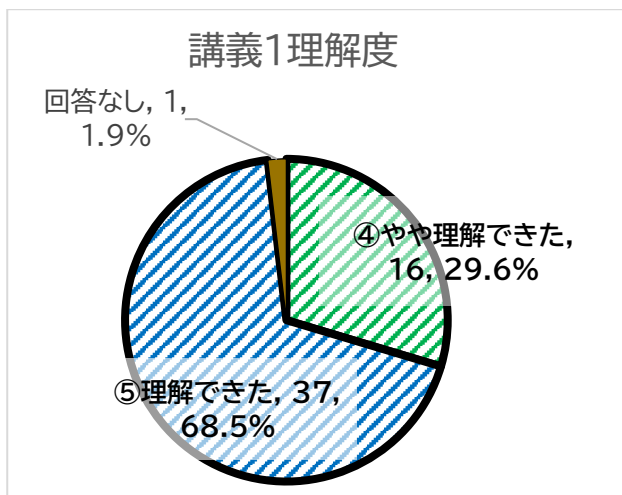


【本設問に関する補足】

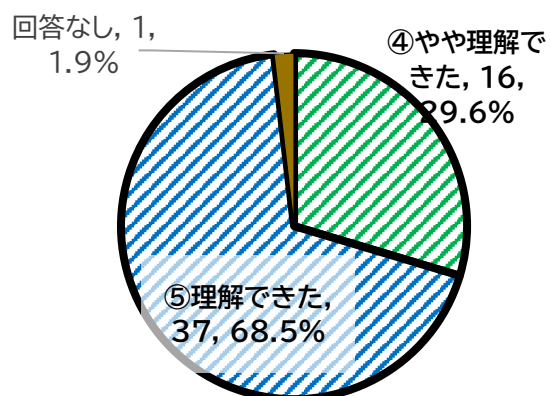
本設問では18人が回答なしであったが、続く設問では回答なしが最大3人であることを踏まえると、本設問項目を見落としてしまった可能性が高い。

今後アンケート用紙作成時の留意事項としたい。

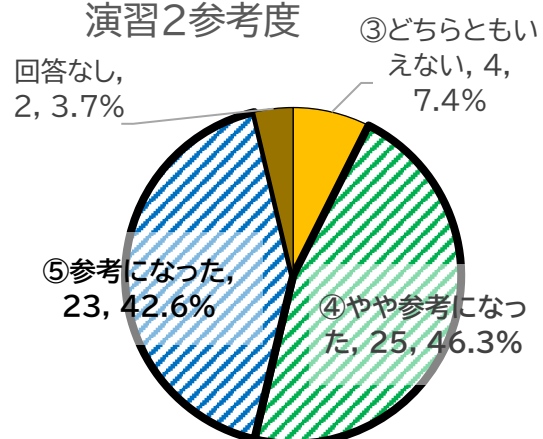
2. プログラムごとに、あなた自身の理解度について5段階で評価してください。



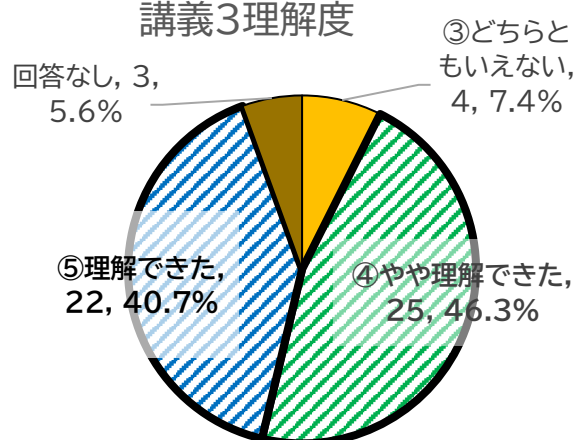
講義2理解度



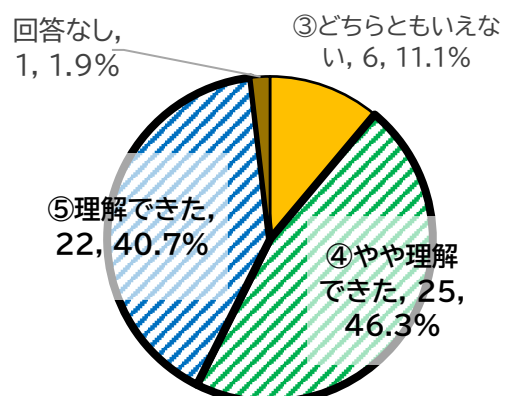
演習2参考度



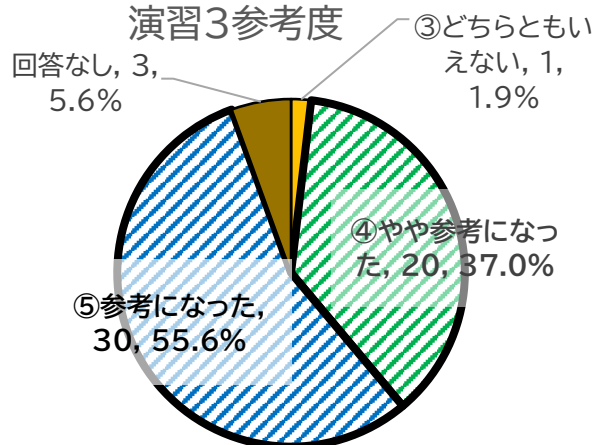
講義3理解度



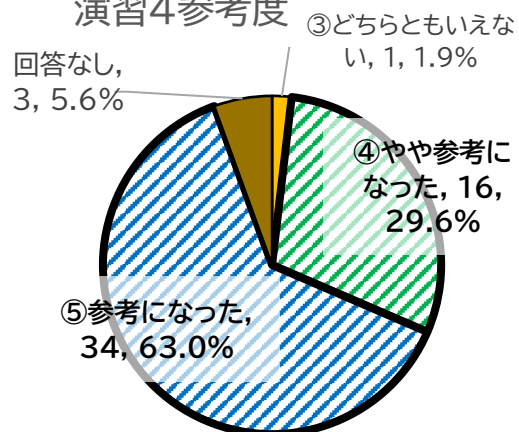
シンポジウム理解度



演習3参考度



演習4参考度



◆研修受講者アンケート項目

2024/12/22 開催

公益社団法人日本精神保健福祉士協会／2024 年度日本財団助成事業 課題別研修／一人暮らしへ向けた支援を行うグループホームの活用を進めるための研修 受講者アンケート

本アンケートは、本研修の効果測定として日本財団への報告に使用させていただくほか、本協会研修事業の参考とさせていただく目的で実施しています。事業報告等に掲載する場合、回答内容は個人が特定できないような処理を施して使用いたします。ご協力の程お願い申し上げます。

I. あなたご自身についてお伺いします(任意記入)

- 性別 ()
- 年代 ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代以上
- 受講区分 ① 本協会構成員 ② 本協会非構成員 ③ 本協会学生会員
- 所属機関種別(複数回答可)
 - ① 精神障害者を対象としている障害福祉サービス事業所等
 - ② 病院・診療所等
 - ③ 認知症疾患医療センター
 - ④ 障害者職業センター(広域・地域)
 - ⑤ 行政機関
 - ⑥ 高齢者対象施設等
 - ⑦ 福祉関係施設等
 - ⑧ 社会福祉協議会
 - ⑨ 発達障害者支援センター
 - ⑩ 各種学校
 - ⑪ ホームレス支援
 - ⑫ 更生施設等
 - ⑬ その他()
 - ⑭ 勤務先なし
- ソーシャルワーカーとしての経験年数 ()年
- 参加の方法について伺います。
 - ① 自費・休暇を利用して
 - ② 自費・勤務扱い
 - ③ 出張扱い
 - ④ その他()

II. 研修内容に関するモニタリング

- 研修全体のあなた自身の「満足度」をお答えください。
 - ① 満足
 - ② まあ満足
 - ③ やや不満
 - ④ 不満
- プログラムごとに、あなた自身の理解度について5段階で評価してください(数字に○を記入)。
また、ご感想やプログラムへのご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

講義1「改めて『すまい』について考える」

1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
←理解できなかった どちらともいえない 理解できた→

演習1「『すまい』について」

1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
←参考にならなかった どちらともいえない 参考になった→

講義2「グループホームのこれから～法改正・報酬改定の内容をおさえる～」

1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
←理解できなかった どちらともいえない 理解できた→

→→裏面に続きます→→

演習2「グループホームの活用について」

1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
←参考にならなかった どちらともいえない 参考になった→

講義3「グループホームを活用するためのアクション」

1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
←理解できなかった どちらともいえない 理解できた→

シンポジウム「『希望する生活』へ向けた私のソーシャルワーク実践」

1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
←理解できなかった どちらともいえない 理解できた→

演習3「グループホームの活用へ向けて」

1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
←参考にならなかった どちらともいえない 参考になった→

演習4「『希望する生活』を叶えるための私の実践」

1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
←参考にならなかった どちらともいえない 参考になった→

3. 今回資料として配布した『希望する一人暮らし等生活に向けた支援等を提供するグループホーム活用ハンドブック』について、ご意見やお気づきの点がございましたら、ご自由にお書きください。

4. その他、何かございましたらご自由にお書きください。

☆アンケート回答にご協力くださり、誠にありがとうございました☆

◆＜参考＞研修実施記録





以上